

Science誌による科学10大成果のうち日本人が貢献した成果

【2013年】

腸内細菌の健康への役割



原 英二 がん研究会がん研究所部長



大谷 直子 がん研究会がん研究所主任研究員



【2012年】

幹細胞から卵子を作成



斎藤 通紀 京都大学大学院教授



林 克彦 京都大学大学院准教授



【2011年】

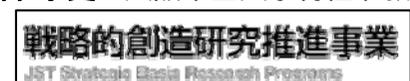
光合成たんぱく質の結晶構造解析



沈 建仁 岡山大学大学院教授



梅名 泰史 大阪市立大学特任准教授



【2009年】

劣悪環境に応答する植物ホルモンの応答経路解明



石濱 泰 慶應義塾大学大学院准教授



【2008年】

細胞の初期化



山中 伸弥 京都大学教授



新しい高温超伝導体



細野 秀雄 東京工業大学教授



【2007年】

ヒトiPS細胞の作成



山中 伸弥 京都大学教授



量子スピンホール効果

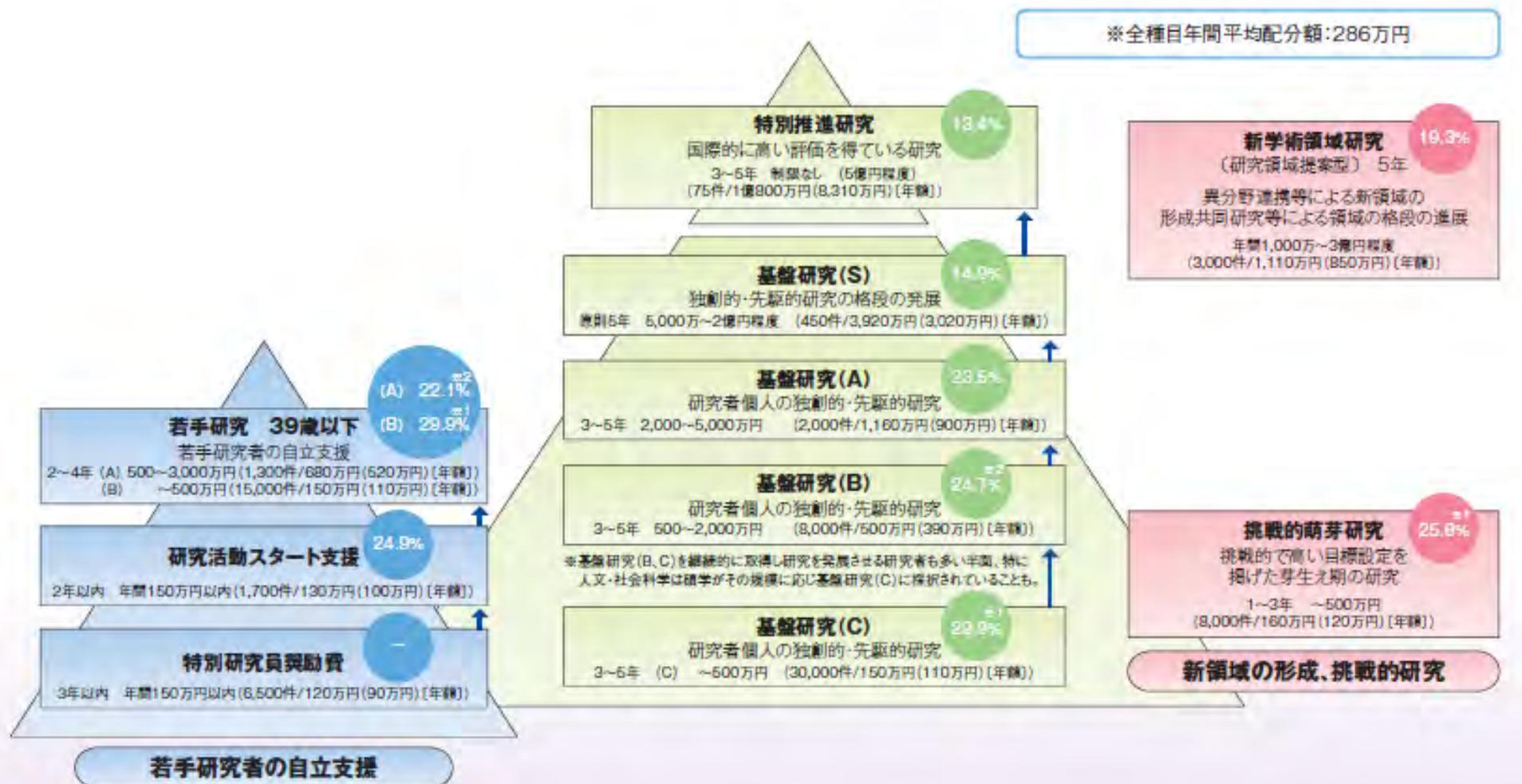


永長 直人 東京大学大学院教授



科学研究費助成事業（科研費）の概要

※全種目年間平均配分額：286万円



※1:平成23年度より基盤研究(C)、挑戦的萌芽研究、若手研究(B)の3種目を基金化
 ※2:平成24年度より基盤研究(B)、若手研究(A)の2種類の一部基金化(500万円まで)
 ※3:丸囲みの数値は平成25年度新規採択率(採択件数/応募件数)
 ※4:各研究種目においてカッコ書き内で記載したデータは、平成25年度の採択件数(新規+継続)、平均配分額(総額及び直接経費)

科研費の新規採択率の推移

○ 科研費の新規採択率は、平成23年に上昇したものの、近年減少傾向。

新規採択率 (%)

